

『一生懸命』幻の新座市議会報告第56弾!



たかむらともや

2010年 5月 31日発行

政治と金

政治と金といっても、小沢さんや鳩山さんのお金のような意味不明のお金ではありません。選挙にかかるお金。つまり我々市民が選挙の費用として払うお金のことです。選挙用の看板を立てたり投票所の人件費に必要な選挙費用。新座市ではいくらにかかっていると思いますか。7月に行われる参議院選挙では、前回は例にすると約4100万がかかります。来年行われる県議会議員選挙では1000万。そして衆議院選挙では4200万。2年後の市議会議員選挙では5400万。そして市長選挙では3300万。立候補者数によって多少違うでしょうが、かなりの費用がかかっていることは分かると思います。特に市議選と市長選の二つは県からの補助金がありませんから、全てが新座市民の税金です。合わせると8700万以上になりますね。現実には、選挙なんてばかばかしくて行けるか!と投票しない人が6割から7割もいる訳ですが、行かなくても毎回その人達からの税金も使われているのです。投票しなければ、自分の思いが伝わることも実現することも難しい。しかも、選挙費用は自分達の税金が使われてしまう。こんなにもったいないことはありません。お祭りのご祝儀を出して、行きもしないのと同じです。どうせお金が使われるのなら、参加しなければ大損。それが選挙です。写真は前回の選挙の初日の様子です。初めて選挙カーに乗った、手づくり選挙でした。



たかやんのプロフィール

本名たかむらともや。東京都新宿区生まれ。新宿区立西戸山中学、都立石神井高校を経て北海道大学へ。大学3年の時、突然教師になる決意をする。77年から教師として五中・六中・二中で21年間を過ごし98年退職。04年初当選。どの会派にも属せず一人会派「語る会」で、しがらみのない発言をし続けている。新堀・石神「たかやん塾」塾長。黒目川川づくり懇談会代表。石神3丁目在住。趣味はテニス・サッカー・料理・片付け・読書・カメラ・川掃除。新座五中・六中の男女硬式テニス部を率いて、県大会は50回以上、関東大会5回、全国大会2回優勝。同時に学級通信「一生懸命」を20年間発行し続ける。議員日記は6年と3ヶ月毎日更新。アクセスは10万回を超える。小中高生の生の声を聞きながら、日々教育を考え「観光新座ではなく、教育新座」を訴えている。ご感想・ご意見・ご提案をお待ちしています。たかやん

たかやんの連絡先

自宅 042-456-8869

携帯 090-6497-5737

mail: takayanchan@jcom.home.ne.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

登下校



新座小学校の1年生の男の子が学童保育の下校中に交通事故で亡くなりました。次男と同じ日に笑顔で入学した子が今はもういないのです。考えるだけで、胸が痛くなってきます。悪いのは、トラックの運転手です。小学校の先生は勿論、学童の指導員にも保護者にも何の責任もありません。悔いが残るのは、誰か大人がそこに居たら・・・ということです。毎朝、小学校の校門に立つようになって数週間。僕が腕章を付けて立っているだけで、車はスピードを落とします。子どもたちが横断歩道のない道路を渡る時は、両手を広げて子ども達を渡らせ、運転手には笑顔で頭を下げる。運転手の方たちも笑顔で挨拶してくれるようになりました。それが僕の朝の仕事になりました。実際に集団登校したり校門に立ってみて分かったことですが、子どもたちは先頭の子以外は殆ど周囲に注意を払いません。自分の目と耳で状況判断をする能力を鍛えられていないのです。上の写真は朝、集団登校の子どもたちの脇を避けて、道路の右側を走るトラックです。

朝顔



ピグマリオン効果

次男の学年では朝顔の種を撒きました。すると5月のある日、芽が出てきました。その時の様子がこの写真です。見て分かります。5つ芽を出している鉢もあれば、一つも芽が出ない鉢もあります。不思議ですよね。みんな同じ日に5つの種を撒いて、同じように水をあげているのに、同じ日には芽がでない。自分の鉢からたくさん芽が出た子は大喜びです。一つも出ない子は可哀そうなくらい元気ありません。「どうして出ないのかなあ・・・」大丈夫、もう直ぐ出るよ！」本当？」うん、絶対！」子ども達はちょっとした言葉で元気になります。そして、数日後にその子の鉢の芽が出た時に、「出てよかったねえ！」と言うととっても素敵な笑顔を見せてくれるのです。これはもうその時がまさに、タイミングなんです。僕はこう言いたいのです。「隣の鉢に芽が出て、焦ってはいけないうだよ、子ども達。世話をしていれば芽は必ず出るのだ。それは君達も同じこと。何だって、練習すれば大抵のことはできるようになるんだ！誰かと比べなくていいんだよ！」って。そして学校の先生達にはこう言いたいです。「みなさんはピグマリオン効果という言葉を知っていますか。心理学用語なのですが、先生や親やコーチが子ども達を見るときに、「この子は絶対にできるようになる。この子はいい子だ」と本気で思いながら褒めていると・・・子ども達は「やる気」になり進んで練習したり勉強したりするようになる効果のことです。その反対がゴーレム効果。この子は駄目だと思って接していると、言葉では褒めても子どもは駄目になっていく・・・。同じ褒めても伸びない子がいるのはそういうことが原因なんですね。よく褒めて育てよ」と言いますが、褒めるのにもコツや技術があります。それは毎日、よく見ること。毎日いいところを探して記録すること。そして、結果ではなく、過程を褒めるということです。毎日記録するからそれができる。その効果は絶大です。』勉強して言葉を知っていても、やらないと意味がありません。先生やコーチ、お父さん、お母さんにも子ども達の為に、ピグマリオンを是非実践して欲しいですね。